

# 足羽川稲津橋周辺の生物相について

## — 福井市自然史博物館友の会「足羽川の生きもの調べ」より —

下野谷 豊一\*・瀬戸 靖夫\*・香川 正行\*・松本 健一\*・藤丸 陽子\*・梅村 信哉\*\*

Biological list around Inazu, Fukui City, Fukui Prefecture (Riverside of Asuwagawa River)  
— Result of the cooperative research by the Friends Membership of Fukui City Museum of Natural History —

Toyokazu SHIMONOYA\*, Yasuo SETO\*, Masayuki KAGAWA\*, Kenichi MATSUMOTO\*,  
Yoko FUJIMARU\* and Shinya UMEMURA\*\*

(要旨) 福井市自然史博物館友の会の活動として、2006年より足羽川稲津橋周辺での生物調査を年1回、計4回実施した。その結果、3種の哺乳類、20科28種の鳥類、9目52科117種の昆虫類、2綱8目21科45種の水生生物、シダ植物3科4種、種子植物52科210種、計214種の植物が確認された。

キーワード：足羽川，生物相，生物目録，博物館友の会

### 1 はじめに

福井市自然史博物館友の会では、自然に興味のある人を繋ぐ場として、博物館を拠点に会員が様々な自然観察会を開くなど自主的な活動を行っている。

その活動の一環として、当会では2006年より足羽川稲津橋周辺で生物調査を年1回実施してきた。調査内容は、哺乳類、鳥類、昆虫類、水生生物（魚類を除く）、植物の5項目とした。

### 2 調査地点及び調査実施日

#### (1) 調査地点

調査は足羽川稲津橋左岸上流300m～下流300mの区間で実施した（図1，2）。

#### (2) 調査実施日

調査実施日は表1に示すとおりである。

表1：調査実施日

2006年	2007年	2008年	2009年
9月10日	5月13日	10月5日※	9月27日

※2008年は水生生物調査のみ10月4日に実施



(国土地理院2万5千分の1「福井」)

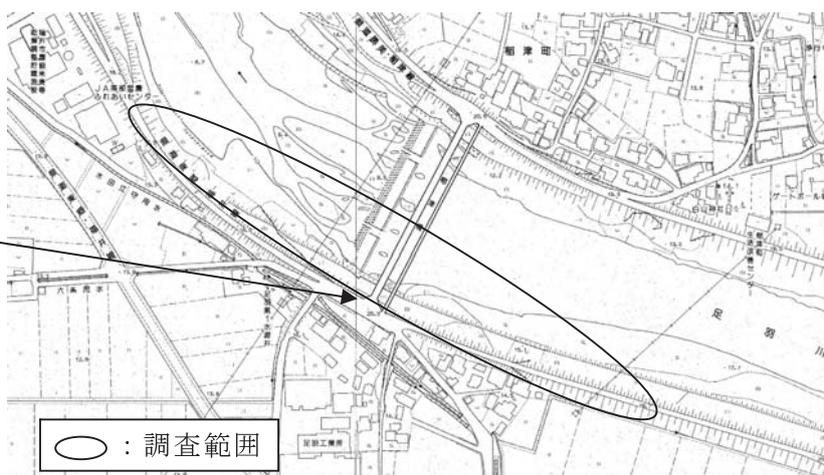


図1：調査地点

\*福井市自然史博物館友の会 〒918-8006 福井市足羽上町147 (友の会事務局)

\*Friends Membership of Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami, Fukui City, Fukui 918-8006, Japan

\*\*福井市自然史博物館 〒918-8006 福井市足羽上町147

\*\*Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwa kami, Fukui City Fukui 918-8006, Japan



図2：足羽川稲津橋周辺の様子（左：稲津橋左岸より下流，右：稲津橋左岸より上流）

### 3 哺乳類調査

#### (1) 調査方法

稲津橋から上流300m，下流300mの左岸河川敷に調査前日からトラップを設置し，翌日回収を行った。用いたトラップはシャーマントラップ(大・小2サイズ)，パンチュウトラップ，モグラ2方向ワナである(図3～5)。各トラップの設置数は表2に示す。

なお，調査は福井県から小型哺乳類の学術捕獲許可を受けて実施した。

#### (2) 調査結果

調査の結果，モグラ属の一種，ハタネズミ，アカネズミの3種の哺乳類が確認された(表3)。

ハタネズミは河川敷や牧草地など草原的な環境に生息する種，アカネズミは森林に生息する他，下生えが密生する河川敷や農耕地などにも出現する種であり，河川敷に草草が広がる本調査地点の環境を反映した結果といえる。調査年別にみると，2007年調査のネズミ

類の捕獲数が多いが，これは5月頃が幼獣の分散期にあたるためと考えられる。

### 4 鳥類

#### (1) 調査方法

調査は堤防上より望遠鏡及び双眼鏡を用いて観察を行い，確認した種を記録した。調査時間は7時30分～8時30分の約1時間とした。

#### (2) 調査結果

調査の結果，20科28種の鳥類が確認された(表4)。主な確認種はダイサギやアオサギ，カルガモ，コガモ，セグロセキレイ，ヒヨドリ，ムクドリなどであった。水面や水辺の河川環境を利用する種その他，農耕地を利用する種も多く観察された。これは本調査地の周辺に水田が広がっているためと考えられる。また，5月に調査を行った2007年調査では，渡り途中のアオアシシギとキアシシギ，河原のヨシ原で繁殖するオオヨシキリ，堤内地のJAの建物で繁殖中のチョウゲンボウが確認された。

表2：哺乳類調査におけるトラップの設置数

	2009/9/10	2007/5/13	2008/10/5	2009/9/27
シャーマントラップ	10個	10個	10個	13個
パンチュウトラップ	10個	10個	10個	12個
モグラ2方向ワナ	—	2個	3個	2個

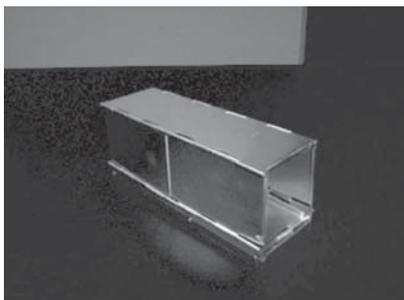


図3：シャーマントラップ



図4：パンチュウトラップ



図5：モグラ2方向ワナ

## 5 昆虫類

### (1) 調査方法

稲津橋から上流300m, 下流300mの左岸河川敷を歩きながら, 見つけ捕り, スウィーピング, ビーチングにより昆虫を捕獲した。また, 2009年は2種類のトラップ(ベイトトラップ, パントラップ)を併用した。トラップは各10個を調査前日より設置した。

各トラップの概要を下記に示す。

- ベイトトラップ (図6)

地表徘徊性昆虫の採集を目的とした落とし穴トラップである(馬場・平嶋, 1991)。今回の調査では, 高さ9cm内径6.4cmのプラスチックカップを使用し, 誘引餌としてカルピスの原液を用いた。

- パントラップ (図7)

平らな容器(pan)に水を張ったトラップである(馬場・平嶋, 1991)。今回の調査では, 内径20cm×23cm×4.5cmの白色プラスチックバットを使用し, 昆虫が逃げないように水に台所用中性洗剤を1滴加えた。

### (2) 調査結果

調査全体を通して, 9目52科117種の昆虫類が確認された(表5)。

確認種は草地性の種が中心で, 本調査地の河川敷の環境を反映した昆虫相であった。また, 2009年調査でトラップ法により, 地上徘徊性のゴミムシ類を確認することができた。いずれも砂泥質の地面に生息する種であり, 本調査地の地質に応じた結果といえる。河川敷に特徴的な種としてはオオヒラタシデムシやヤマトヒメカゲロウが挙げられる。また, 河川敷の一部が畑に利用されていることからウリハムシやクロウリハムシ, モンシロチョウなど, 栽培植物を食草とする種も確認された。

一方, 確認種のうち本調査地が本来の生息地ではないと思われる種は, 山地性の種で(ゴマダラチョウ, スジグロシロチョウなど), 季節移動による種(ウラ

ナミシジミ, ウスバキトンボ), 温暖化で入ってきたと考えられる種(ツマグロヒョウモン, チャバネセセリなど)などである。山地性の種については, 河畔林を伝うなどして上流から下流に分布を拡大してきたものであると考えられる。

また, 今回の調査ではブタクサハムシ, アメリカミズアブ, アオマツムシ, モンシロチョウの4種の外来種(日本生態学会編, 2002)が確認された。ブタクサハムシは北アメリカ原産のハムシで, 福井県では1998年に侵入が確認されている(下野谷, 2004)。本種はブタクサ・オオブタクサを主な食草としており, オオブタクサは生息環境として富栄養化した河原を好むことから(日本生態学会, 2002), 今回の調査地のような場所でも生息が確認されたものと考えられる。アオマツムシは1898年に日本への侵入が確認され, 1970年代から1980年代にかけて日本全国に急速に分布を拡大した種である。本種は樹上生活種であり, 街路樹などに依存して生活していることから(日本生態学会編, 2002), 本調査地でも堤防道路沿いに植えられた街路樹に依存して発生をしているものと考えられる。モンシロチョウはアブラナ科の栽培植物を好む種であり, 河川敷の一部に耕作された畑に依存して発生しているのであろう。また, アメリカミズアブは1950年頃に日本に侵入し, ゴミなどに依存して生活することから(朝比奈ら, 1965), 本調査地の一部で見られた畑で廃棄される野菜クズなどの生ゴミに依存して発生しているものと推察される。

本調査で確認された昆虫類のうち特筆すべき種としては, トノサマバッタの転移相が挙げられる。これは幼虫が高い密度で育ったときに出現するもので, 通常のとノサマバッタに比べて体色が黒化し, 翅が長くなり, 後肢が短くなるという特徴を有している。集団生活のとノサマバッタが何世代か続くと, 翅, 後肢, 体色の形質の特徴がより顕著になり, 集団で大移動をする群生相へと変化していく(矢島, 1998; Tanaka, 2005)。今回の調査では転移相のとノサマバッタが確認されたことから, 洪水による河川敷の攪乱の後, ト



図6: ベイトトラップ



図7: パントラップ

ノサマバッタの幼虫が集団で育つ環境が一時的に創出されたものと推察される。

また、2009年の調査において福井県未記録種であるババゴモクムシ（図8）が採集されたことも特筆すべき点としてあげることができる。

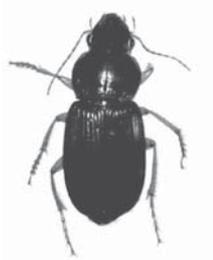


図8：ババゴモクムシ

## 6 水生生物

### (1) 調査方法

稲津橋下流の瀬で、川底に50cm×50cmの方形枠がついたサーバーネットを置き、枠内の生物をすべて採集した（図9、10）。採集対象は魚類を除く水生生物全般（水生昆虫、エビ類、カニ類、貝類、ミミズ類など）とした。採集した生物は80%エタノールに保存して持ち帰り、種ごとに個体数及び湿重量を計測した。



図9：サーバーネット



図10：サーバーネットによる採集

### (2) 調査結果

調査の結果、2網8目21科45種の水生生物が確認された（表6）。

主な確認種はエルモンヒラタカゲロウやチラカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ、ウルマーシマトビケラなど、瀬の礫底に生息する種であった。

本調査地は福井豪雨後の河川改修工事により、2006年調査時には河道内は重機でならされた状態であった。川底の生物は少なく、0.5㎡あたり7種、生物量を示す湿重量は0.18gであったが、調査を重ねるごとに種数、湿重量ともに増加し、3年後の2009年には30種、湿重量11.42g/0.5㎡の生物が確認された。2009年調査では瀬の主要種であるヒゲナガカワトビケラが多く採集された他、ヘビトンボやオオヤマカワゲラ属などの大型種も確認され、川底の生物が順調に回復しつつあることがうかがえる。

## 7 植物

### (1) 調査方法

稲津橋から上流300m、下流300mの左岸河川敷を歩きながら確認した種を記録した。調査は維管束植物（シダ植物、種子植物）を対象に、調査区間内を河川横断方向に堤防・堤防法面、高水敷、低水敷、水際に分け ていった（図11）。

### (2) 調査結果

調査の結果、シダ植物3科4種、種子植物52科210種、計214種の植物が確認された（表7）。

本調査地の植物相は草本中心で、堤防・堤防法面ではカラムシやヨモギ、ススキ、クズなど、高水敷ではカナムグラやノイバラ、セイトカアワダチソウなど、低水敷～水際ではオギ、ミゾソバ、ヤナギタデ、ツルヨシ、マコモ、ヤナギ類などが生育していた。県内での確認記録が少ない種としては、ホソバイラクサが挙げられる。2009年調査時に稲津橋上流で群生しているのが確認された。県内では2例目の確認となる（渡辺、2003）。

足羽川の生きものしらべ(植物)

調査地：足羽川 稲津橋上流下流各300m(計600m) 左岸(福井市稲津町・東郷中島町)  
 調査年月日：2008年10月5日(日)  
 調査者：  
 海拔高：  
 方位・傾斜：  
 調査地区分： 稲津橋上流300m  
 稲津橋下流300m

種名	A 堤防・堤防法面	B (高水敷)	C (低水敷)	D (斜面・水際)	備考 (花・実など)
1					
2					
3					
4					
5					

図11：植物調査票

帰化植物としては、セイタカアワダチソウ、ニワウルシ、オオバタクサ、アメリカセンダングサ、メリケンカルカヤなど50種を確認した。河川横断方向別の帰化植物率（帰化植物数/確認種数×100）は、堤防・堤防法面：30.2%、高水敷：23.5%、低水敷～水際：18.8%で、堤防に近いほど高くなる傾向がみられた。

稲津橋下流は2006年調査時には福井豪雨後の河川改修工事により、水際部はほとんど植生がみられない状態であったが、現在はツルヨシなどの抽水植物やミゾソバなどの湿生植物を中心に植生がほぼ回復している（図2）。

## 8 調査参加者

安達幸二、井上美代子、梅村信哉、岡 友章、岡崎敏、香川正行、源野みね子、河野繁朗、河野真暉、河野愛奈、小寺仁美、小林貴樹、小林雪枝、小林莉詠、佐藤友香、下野谷豊一、瀬戸靖夫、高屋浩一、多田憲市、田中嘉寛、谷村健一、出口翔大、東郷憲一郎、内藤由香子、中村幸世、初田俊雄、藤丸陽子、松本健一、山田博英、横坂恭子、横坂弘太郎、横坂裕也、横道則弘、吉澤康暢

## 謝 辞

本調査の実施にあたり、渡辺定路氏（福井市自然史博物館前館長）には植物調査に御同行頂き、調査方法、同定等でご指導を賜りました。ここに御氏名を挙げ、感謝の意を表します。

## 引用文献

- 福井県, 1998, 福井の鳥とけものたち.  
 朝比奈正二郎ら編, 1965, 原色日本昆虫大図鑑第3巻. 北隆館, 195.  
 馬場金太郎・平嶋義宏編, 1991, 昆虫採集学. 九州大学出版会, 369-374.  
 日本生態学会編, 2002, 外来種ハンドブック. 地人書館, 138, 149, 306-312.  
 Seiji Tanaka, 2005, Hormonal Control of Phase Polyphenism in Locusts. 台湾昆虫25 (3), 131-143.  
 下野谷豊一, 2004, 外来種2種を含む福井県産甲虫の分布記録. 福井市自然史博物館研究報告, (54), 31-35.  
 矢島 稔, 1998, わたしの昆虫記①黒いトノサマバタ. 偕成社, 50-61.  
 渡辺定路, 2003, 改訂増補 福井県植物誌. 福井新聞社, 107p

表3：哺乳類確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	2006年9月10日	2007年5月13日	2008年10月5日	2009年9月27日
1	モグラ	モグラ	モグラ属	<i>Mogera sp.</i>		坑道	坑道	坑道
2	ネズミ	ネズミ	ハタネズミ	<i>Microtus montebelli</i>		2		
3			アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>	3	9	2	1
確認種数					1種	3種	2種	1種

表4：鳥類確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	渡り区分	2006年9月10日	2007年5月13日	2008年10月5日	2009年9月27日	環境タイプ
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>	留鳥	○				水面
2	バリカン	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	留鳥				○	水面
3	コウノトリ	サギ	ダイサギ	<i>Egretta alba</i>	留鳥	○		○	○	農耕地・水辺
4			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	留鳥	○				農耕地・水辺
5			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	留鳥					農耕地・水辺
6	カモ	カモ	カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha</i>	留鳥					水面
7			コガモ	<i>Anas crecca</i>	冬鳥				○	水面
8	タカ	タカ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	留鳥				○	水面
9			トビ	<i>Milvus migrans</i>	留鳥	○	○			農耕地
10			ハヤブサ	<i>Falco tinnunculus</i>	留鳥		○			農耕地
11	キジ	キジ	キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	留鳥		○			草地
12	チドリ	チドリ	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	留鳥			○		水辺
13			アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>	旅鳥		○			農耕地・水辺
14			キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>	旅鳥		○			農耕地・水辺
15	ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	留鳥	○	○			農耕地
16	スズメ	ツバメ	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	夏鳥	○	○			農耕地
17		セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	留鳥			○		水辺
18			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	留鳥				○	農耕地・水辺
19			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	留鳥	○	○	○	○	農耕地・水辺
20		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	留鳥	○	○	○		農耕地
21		モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	留鳥		○	○	○	農耕地
22		ウグイス	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus arundinaceus</i>	夏鳥		○			草地
23		ヒタキ	コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>	夏鳥				○	樹林
24		メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	留鳥				○	樹林
25		ハタオリドリ	スズメ	<i>Passer montanus</i>	留鳥	○	○		○	農耕地
26		ムクドリ	ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i>	留鳥	○	○	○	○	農耕地
27		カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	留鳥	○	○	○	○	農耕地
28			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	留鳥	○			○	農耕地
確認種数						14種	16種	10種	15種	

種名及び配列は日本鳥学会, 2000, 日本鳥類目録改訂第6版に従った。渡り区分は福井県, 1998, 福井の鳥とけものたちより引用した。

表5：昆虫確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	2006年 9月10日	2007年 5月13日	2008年 10月5日	2009年 9月27日	
1	トンボ目	カワトンボ科	ハグロトンボ	<i>Calopteryx atrata</i>				○	
2		トンボ科	ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>	○				
3			アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>			○		
4	バッタ目	ツユムシ科	セスジツユムシ	<i>Ducetia japonica</i>				○	
5			サトクダマキモドキ	<i>Holochlora japonica</i>				○	
6			ツユムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>				○	
7			アシグロツユムシ	<i>Phaneroptera nigroantennata</i>					
8		キリギリス科	オナガササキリ	<i>Conocephalus gladiatus</i>			○		
9			クサキリ	<i>Ruspolia lineosa</i>	○		○		
10		マツムシ科	スズムシ	<i>Meloidiomorpha japonica</i>				○	
11			アオマツムシ	<i>Trujalia hibinonis</i>				○	
12		コオロギ科	タンボオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus aomoriensis</i>				○	
13			クマスズムシ	<i>Scleropterus punctatus</i>				○	
14			エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>			○		
15			ツツレサセコオロギ属	<i>Velarifictorus</i> sp.				○	
16		バッタ科	ショウリヨウバッタ	<i>Acrida cinerea</i>	○		○		
17			トノサマバッタ	<i>Locusta migratoria</i>	○				
18			ツマグロイナゴモドキ	<i>Stethophyma magister</i>	○				
19			イボバッタ	<i>Trilophidia annulata japonica</i>	○				
20			オンブバッタ科	オンブバッタ	<i>Atractomorpha lata</i>	○		○	
21			ヒシバッタ科	ハネナガヒシバッタ	<i>Euparattix insularis</i>		○	○	
22			ノミバッタ科	ノミバッタ	<i>Xya japonica</i>	○	○	○	
23	カメムシ目		アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ	<i>Geisha distinctissima</i>	○		○	
24			ハゴロモ科	ベッコウハゴロモ	<i>Orosanga japonicus</i>	○			
25			ヨコバイ科	ツマグロオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>		○		
26		ホシカメムシ科	フタモンホシカメムシ	<i>Pyrrhocoris sibiricus</i>	○				
27		ホソヘリカメムシ科	クモヘリカメムシ	<i>Leptocoris chinensis</i>			○		
28		ヘリカメムシ科	ホシハラビロヘリカメムシ	<i>Homoeocerus unipunctatus</i>			○	○	
29			ツマキヘリカメムシ	<i>Hygia opaca</i>				○	
30		ヒメヘリカメムシ科	アカヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus maculatus</i>				○	
31		ナガカメムシ科	キベリヒョウタンナガカメムシ	<i>Paraparomius lateralis</i>				○	
32			オオメナガカメムシ	<i>Picocoris varius</i>	○	○	○		
33			コバネヒョウタンナガカメムシ	<i>Togo hemipterus</i>			○		
34		メダカナガカメムシ科	メダカナガカメムシ	<i>Chautiops fallax</i>					
35		カメムシ科	ブチヒゲカメムシ	<i>Dolycoris baecorum</i>			○		
36			クサギカメムシ	<i>Halyomorpha halys</i>		○	○		
37		アミメカゲロウ目	ヒメカゲロウ科	ヤマトヒメカゲロウ	<i>Hemerobius japonicus</i>			○	
38	シリアゲムシ目	シリアゲムシ科	ヤマトシリアゲ	<i>Panorpa japonica</i>	○	○	○	○	
39	チョウ目	セセリチョウ科	イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata guttata</i>		○	○	○	
40			チャバネセセリ	<i>Pelopidas mathias oberthueri</i>			○		
41		シジミチョウ科	ルリシジミ	<i>Celastrina argiolus ladonides</i>	○	○			
42			ウラギンシジミ	<i>Curetis acuta paracuta</i>			○		
43			ツバメシジミ	<i>Everes argiades hellotia</i>				○	
44			ウラナシジミ	<i>Lampides boeticus</i>			○	○	
45			ペニシジミ	<i>Lycaena phlaeas daimio</i>			○		
46			ヤマトシジミ	<i>Pseudocleezia maha</i>	○		○	○	
47		タテハチョウ科	コムラサキ	<i>Apatura metis substituta</i>				○	
48			ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius hyperbius</i>				○	
49			ミドリヒョウモン	<i>Argynnis paphia tsushimana</i>				○	
50			ゴマダラチョウ	<i>Hestina japonica</i>			○		
51			キタテハ	<i>Polygonia c-aureum c-aureum</i>	○			○	
52			アカタテハ	<i>Vanessa indica</i>	○				
53		アゲハチョウ科	キアゲハ	<i>Papilio machaon hippocrates</i>				○	
54			ナミアゲハ	<i>Papilio xuthus</i>				○	
55		シロチョウ科	キチョウ	<i>Eurema hecabe</i>	○		○		
56			スジグロシロチョウ	<i>Pieris melete melete</i>	○				
57			モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>	○		○	○	
58	ジャノメチョウ科	ヒメウラナシジャノメ	<i>Ypthima argus</i>						
59	ツトガ科	マメノメイガ	<i>Maruca vitrata</i>	○					
60		シロオビノメイガ	<i>Spoladea recurvalis</i>			○			
61		シャクガ科	ユウマダラエダシャク	<i>Abraxas miranda miranda</i>			○	○	
62		ヤガ科	フクラスズメ	<i>Arcte coerula</i>				○	
63			タイワンキシダアツバ	<i>Hypena trigonalis</i>			○		
64	ハエ目	ガガンボ科	キアシガガンボ	<i>Tipula flavocostalis</i>				○	
65		ミスアブ科	アメリカミスアブ	<i>Hermetica illucens</i>			○	○	
66			コウカアブ	<i>Plecticus tenebrifer</i>			○		
67			ルリミスアブ	<i>Sargus nipponensis</i>			○		
68		ムシヒキアブ科	アオメアブ	<i>Cophinopoda chinensis</i>	○				
69		ハナアブ科	ヤマトヒゲナガハナアブ	<i>Chrysotoxum arcuatum</i>				○	
70			ホソヒラタアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>				○	
71			ハナアブ	<i>Eristalis tenax</i>			○		
72	オオハナアブ		<i>Phytomia zonata</i>			○			
73	コウチュウ目	オサムシ科	オオマルガタゴミムシ	<i>Amara gigantea</i>				○	
74			ツヤマルガタゴミムシ	<i>Amara obscuripes</i>				○	
75			キアシヌレチゴミムシ	<i>Archipatrobus flavipes</i>				○	
76			アオゴミムシ	<i>Chlaenius pallipes</i>			○		
77			ルリヒラタゴミムシ	<i>Dicranoncus femoralis</i>			○		
78			セアカヒラタゴミムシ	<i>Dolichus halensis</i>	○		○	○	
79			ババゴモクムシ	<i>Harpalus babai</i>				○	
80			オオゴモクムシ	<i>Harpalus capito</i>				○	
81			クロゴモクムシ	<i>Harpalus niigatanus</i>				○	
82			ウスアカクロゴモクムシ	<i>Harpalus sinicus</i>				○	
83			コゴモクムシ	<i>Harpalus tridens</i>				○	
84			フタホシスジバネゴミムシ	<i>Planetes puncticeps</i>				○	
85			オオナガゴミムシ	<i>Pterostichus fortis</i>	○				
86			コホソナガゴミムシ	<i>Pterostichus longinquus</i>					○
87			オオクロナガゴミムシ	<i>Pterostichus prolongatus</i>					○

足羽川稲津橋周辺の生物相について

No.	目名	科名	種名	学名	2006年 9月10日	2007年 5月13日	2008年 10月5日	2009年 9月27日
88	コウチュウ目	シデムシ科	オオヒラタシデムシ	<i>Eusilpha japonica</i>	○			○
89		コガネムシ科	コアオハナムグリ	<i>Gametis jucunda</i>		○		
90		コムツキムシ科	サビキコリ	<i>Agrypnus binodulus binodulus</i>	○	○	○	
91			オオハナムツキ	<i>Dicronychus nothus</i>		○		
92		ジョウカイボン科	ジョウカイボン	<i>Athemis suturellus suturellus</i>		○		
93		テントウムシ科	ナナホシテントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>	○	○	○	
94			ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>	○	○	○	
95			キイロテントウ	<i>Illeis koebelei koebelei</i>			○	
96			ヒメカメノコテントウ	<i>Propylea japonica</i>	○	○		○
97			テントウムシダマシ科	ヨツボシテントウダマシ	<i>Ancylopus pictus asiaticus</i>	○		
98		ホソヒラタムシ科	ミツモンセマルヒラタムシ	<i>Psammoecus trigitatus</i>	○			
99		アリモドキ科	ホソクビアリモドキ	<i>Formicomus braminus coiffaiti</i>	○			
100		ハムシ科	ウリハムシ	<i>Aulacophora indica</i>	○			
101			クロウリハムシ	<i>Aulacophora nigripennis nigripennis</i>		○		
102			ヤツボシハムシ	<i>Gonioctena nigropagiata</i>		○		
103			ブタクサハムシ	<i>Ophraella communis</i>			○	○
104			ヒメキバナサルハムシ	<i>Pagria signata</i>	○			
105			ヤナギルリハムシ	<i>Plagiodera versicolora</i>		○		
106		オトシブミ科	クロケシツブチョッキリ	<i>Auletobius uniformis</i>	○			
107	ブドウハマキチョッキリ		<i>Byctiscus lacunipennis</i>	○				
108	ゾウムシ科	コフキゾウムシ	<i>Eugnathus distinctus</i>		○			
109		ナガカツオゾウムシ	<i>Lixus depressipennis</i>		○			
110		ハバチ科	カブラハバチ	<i>Athalia rosae ruficornis</i>			○	
111	スズメバチ科	フタモンアシナガバチ	<i>Polistes chinensis antennalis</i>			○		
112		オオスズメバチ	<i>Vespa mandarinia</i>				○	
113		キイロスズメバチ	<i>Vespa similima</i>			○		
114		ベッコウバチ科	オオモンクロベッコウ	<i>Anoplius samariensis</i>			○	
115	ハチ目	ツチバチ科	ヒメハラナガツチバチ	<i>Campomeriella annulata annulata</i>			○	
116		ニホンミツバチ	<i>Apis cerana japonica</i>				○	
117		ミツバチ科	クマバチ	<i>Xylocopa appendiculata</i>				○
確認種数					43種	24種	43種	52種

種名及び配列は国土交通省河川水辺国勢調査目録に従った。2009年のフクラスズメについては幼虫を目視にて確認したものである。

表6：水生生物確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	2006年 9月10日		2007年 5月13日		2008年 10月4日		2009年 9月27日		
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	
1	順列目	ヒラタウズムシ科	ヒラタウズムシ科	Planariidae			2	0.02					
2	カゲロウ目	コカゲロウ科	ミジカオフタバコカゲロウ	<i>Acentrella sibirica</i>					2	<0.01			
3			フタバコカゲロウ	<i>Baetiella japonica</i>			9	0.02			2	<0.01	
4			シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>			3	0.01					
5			トビイロコカゲロウ	<i>Nigrobaetis chocoratus</i>					6	<0.01	4	<0.01	
6			Dコカゲロウ	<i>Nigrobaetis sp. D</i>		8	0.01	4	0.01				
7			Hコカゲロウ	<i>Tenuibaetis sp. H</i>			15	0.05	16	0.04	24	0.02	
8			ヒラタカゲロウ科	キブネタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus kibunensis</i>	1	0.01						
9		シロタニガワカゲロウ		<i>Ecdyonurus yoshidae</i>					34	0.06			
10		エルモンヒラタカゲロウ		<i>Epeorus latifolium</i>			5	0.02	128	0.8	22	0.22	
11		ヒメヒラタカゲロウ		<i>Rhithrogena japonica</i>					2	0.02	2	<0.01	
12		サツキヒメヒラタカゲロウ		<i>Rhithrogena tetrapunctigera</i>	3	<0.01	48	0.32	4	0.02	4	0.02	
13		チラカゲロウ		<i>Isonychia japonica</i>	4	0.12	5	0.27	76	0.38	10	0.16	
14		トビイロカゲロウ科	ヒメトビイロカゲロウ	<i>Choroterpes altioculus</i>					6	0.02	10	0.02	
15			ナミトビイロカゲロウ	<i>Paraleptophlebia japonica</i>	1	<0.01							
16		モンカゲロウ科	モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>							2	0.06	
17	マダラカゲロウ科	クロマダラカゲロウ	<i>Cincticostella nigra</i>			1	0.02						
18		ヨシノマダラカゲロウ	<i>Drunella ishiyamana</i>			2	0.03						
19		フタマダラカゲロウ	<i>Drunella sachalinensis</i>			5	0.21						
20		クシゲマダラカゲロウ	<i>Ephemerella setigera</i>			17	0.05			4	0.02		
21		エラブタマダラカゲロウ	<i>Torleya japonica</i>					2	0.02				
22		アカマダラカゲロウ	<i>Uracanthella punctisetae</i>			3	0.01	74	0.2	14	0.04		
23		トンボ目	サナエトンボ科	オナガサナエ	<i>Omychogomphus viridicostus</i>						4	1.4	
24	コオニヤンマ			<i>Sieboldia albardae</i>							2	0.88	
25	カワゲラ目	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae		1	0.01						
26		カワゲラ科	カミムラカワゲラ属	<i>Kanimuria sp.</i>				6	0.06	8	0.18		
27			フタツメカワゲラ属	<i>Neoperla sp.</i>						2	0.02		
28			オオヤマカワゲラ属	<i>Oyamia sp.</i>	1	0.02	1	0.05			4	0.26	
29		アミメカワゲラ科	アサカワヒメカワゲラ属	<i>Kogotus sp.</i>			2	0.02					
30	ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	<i>Proterhermes grandis</i>						4	1.84		
31	トビケラ目	シマトビケラ科	コガタシマトビケラ属	<i>Cheumatopsyche sp.</i>			5	0.05	124	0.24	28	0.16	
32			ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>	4	0.02	18	0.25	8	0.08	22	0.22	
33		クダトビケラ科	クダトビケラ属	<i>Psychomyia sp.</i>			2	0.01					
34		ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>					22	0.3	80	5.36	
35			ヒゲナガカワトビケラ属	<i>Stenopsyche sp.</i>							10	0.02	
36		ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属	<i>Glossosoma sp.</i>			12	0.09					
37			ナガレトビケラ科	ムナグロナガレトビケラ	<i>Rhyacophila nigrocephala</i>						2	0.04	
38		ハエ目	ガガンボ科	ヤマナカナガレトビケラ	<i>Rhyacophila yamanakensis</i>						8	0.04	
39				ウスバガガンボ属	<i>Antocha sp.</i>		6	0.03	4	<0.01	10	0.04	
40			ユスリカ科	トクナガユスリカ属	<i>Tokunagaia sp.</i>			16	0.01			10	<0.01
41	トラフユスリカ属			<i>Conchapelopia sp.</i>			17	0.02	2	<0.01	6	<0.01	
42	ハダカユスリカ属			<i>Cardiocladius sp.</i>		1	<0.01	4	<0.01				
43	ハモンユスリカ属			<i>Polypedilum sp.</i>			8	0.01			16	<0.01	
44	エリユスリカ属			<i>Orthocladus sp.</i>							10	<0.01	
45	アシマダラブユスリカ属			<i>Simulium sp.</i>					2	<0.01	10	0.02	
0.5m <sup>2</sup> あたりの個体数、湿重量 (g)					22	0.18	208	1.59	522	2.24	390	11.42	
確認種数					7		25		19		29		

種名及び配列は国土交通省河川水辺国勢調査目録に従った。

表7：植物確認状況

No.	分類群	科名	種名	学名	2006年 9月10日	2007年 5月13日	2008年 10月5日	2009年 9月27日
1	シダ植物	トクサ科	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>	○	○	○	○
2		ヒメシダ科	ヒメワラビ	<i>Thelypteris torresiana var. calvata</i>			○	
3		メシダ科	イヌワラビ	<i>Athyrium niponicum</i>				
4			クサソテツ	<i>Matteuccia struthiopteris</i>		○		○
5	被子植物 双子葉植物 離弁花類	クルミ科	オニグルミ	<i>Juglans ailanthifolia</i>		○		○
6		ヤナギ科	カワヤナギ	<i>Salix gilgiana</i>	○	○	○	○
7			ネコヤナギ	<i>Salix gracilistyla</i>	○			
8			イヌコリヤナギ	<i>Salix integra</i>			○	
9			コゴメヤナギ	<i>Salix serissaefolia</i>		○		
10			タチヤナギ	<i>Salix subfragilis</i>	○		○	○
11			マルバヤナギ	<i>Salix yezoalpina</i>		○	○	○
12		ブナ科	クリ	<i>Castanea crenata</i>				○
13		ニレ科	エノキ	<i>Celtis sinensis var. japonica</i>	○	○		○
14		クワ科	クワクサ	<i>Fatoua villosa</i>	○		○	
15			カナムグラ	<i>Humulus japonicus</i>	○	○	○	○
16			ヤマグワ	<i>Morus australis</i>		○		
17	イラクサ科	ヤブマオ	<i>Boehmeria japonica var. longispica</i>	○		○	○	
18		カラムシ	<i>Boehmeria nivea ssp. nipononivea</i>	○	○	○	○	
19		ミズ	<i>Pilea hamaoi</i>			○	○	
20			ホソバイラクサ	<i>Urtica angustifolia</i>				○
21		タデ科	ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i>	○		○	
22			オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i>	○			
23			イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>	○		○	○
24			イシミカワ	<i>Persicaria perfoliata</i>		○		○
25			ハナタデ	<i>Persicaria posumbu var. laxiflora</i>			○	○
26				ママコノシリヌグイ	<i>Persicaria senticosa</i>	○		
27			アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sieboldii</i>			○	
28			ミソソバ	<i>Persicaria thunbergii</i>	○	○	○	○
29			ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i>			○	○
30			スイバ	<i>Rumex acetosa</i>		○		
31		アレチギシギシ	<i>Rumex conglomeratus</i>		○	○		
32		ギシギシ	<i>Rumex japonicus</i>		○			
33		マダイオウ	<i>Rumex madaio</i>		○			
34		エゾノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i>			○	○	
35	ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i>			○		
36	ザクロソウ科	ザクロソウ	<i>Mollugo pentaphylla</i>	○				
37	スベリヒユ科	マツバボタン	<i>Portulaca grandiflora</i>	○				
38		スベリヒユ	<i>Portulaca oleracea</i>	○		○	○	
39	ナデシコ科	オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i>			○		
40		ミミナグサ	<i>Cerastium holosteoides var. angustifolium</i>			○		
41		ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>			○		
42			ノミノフスマ	<i>Stellaria alsine var. undulata</i>		○		
43			ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i>	○	○	○	○
44			ハコベ	<i>Stellaria media</i>		○		
45			ミドリハコベ	<i>Stellaria neglecta</i>		○		
46	アカザ科	シロザ	<i>Chenopodium album</i>	○	○	○	○	
47		ケアリタソウ	<i>Chenopodium ambrosioides</i>	○				
48		アリタソウ	<i>Chenopodium ambrosioides var. anthelminticum</i>			○	○	
49	ヒユ科	イノコズチ	<i>Achyranthes bidentata var. japonica</i>			○	○	
50		ヒナタイノコズチ	<i>Achyranthes bidentata var. tomentosa</i>	○		○	○	
51		イヌビユ	<i>Amaranthus lividus</i>			○	○	
52	キンポウゲ科	ボタンヅル	<i>Clematis apifolia</i>	○	○	○	○	
53		センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i>		○		○	
54		ウマノアシガタ	<i>Ranunculus japonicus</i>		○			
55	アケビ科	アケビ	<i>Akebia quinata</i>		○		○	
56	ツツラフジ科	アオツツラフジ	<i>Cocculus orbiculatus</i>		○	○		
57	ドクダミ科	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>	○		○	○	
58	オトギリソウ科	オトギリソウ	<i>Hypericum erectum</i>	○				
59	ケシ科	ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i>		○			
60	アブラナ科	セイヨウアブラナ	<i>Brassica napus</i>		○			
61		タネツケバナ	<i>Cardamine flexuosa</i>	○				
62		ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i>			○		
63		ジャニンジン	<i>Cardamine impatiens</i>			○		
64		コンロンソウ	<i>Cardamine leucantha</i>			○		
65		オオバタネツケバナ	<i>Cardamine scutata</i>			○		
66		イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i>	○	○	○	○	
67	ベンケイソウ科	コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i>		○			
68	ユキノシタ科	ウツギ	<i>Deutzia crenata</i>		○			
69	バラ科	キンミズヒキ	<i>Agrimonia japonica</i>		○			
70		ヘビイチゴ	<i>Duchesnea chrysantha</i>			○		
71		オヘビイチゴ	<i>Potentilla sundaica var. robusta</i>			○	○	
72		ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i>	○	○	○	○	
73		ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>	○	○	○	○	
74	マメ科	ヤハズソウ	<i>Kummerowia striata</i>			○	○	
75		メドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i>	○	○	○	○	
76		クズ	<i>Pueraria lobata</i>	○	○	○	○	
77		ニセアカシヤ	<i>Robinia pseudoacacia</i>		○			
78		コメツツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>		○			
79			シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>		○		○
80			ヤハズエンドウ	<i>Vicia angustifolia</i>		○		
81			ホソバヤハズエンドウ	<i>Vicia angustifolia var. minor</i>		○		
82			カラスノエンドウ	<i>Vicia sepium</i>		○		○
83			カスマグサ	<i>Vicia tetrasperma</i>		○		
84		フジ	<i>Wisteria floribunda</i>		○			
85	カタバミ科	イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i>	○				
86		カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>	○	○	○	○	

足羽川稲津橋周辺の生物相について

No.	分類群	科名	種名	学名	2006年 9月10日	2007年 5月13日	2008年 10月5日	2009年 9月27日
87	被子植物	カタバミ科	ムラサキカタバミ	<i>Oxalis corymbosa</i>		○	○	
88	双子葉植物		エゾタチカタバミ	<i>Oxalis fontana</i>	○			
89	離弁花類		オッタチカタバミ	<i>Oxalis stricta</i>	○			○
90		フウロソウ科	ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i>	○	○	○	○
91		トウダイグサ科	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>	○		○	○
92			アブラギリ	<i>Aleurites cordata</i>	○			
93			オオニシキソウ	<i>Euphorbia maculata</i>	○		○	
94			コニシキソウ	<i>Euphorbia supina</i>	○		○	
95			アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>		○		○
96		ニガキ科	ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i>	○	○	○	○
97		ニシキギ科	マサキ	<i>Euonymus japonicus</i>	○			○
98		ブドウ科	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa var. heterophylla</i>	○	○	○	○
99			ヤブガラシ	<i>Cayratia japonica</i>	○	○	○	○
100		ウリ科	カボチャ	<i>Cucurbita moschata var. toonans</i>			○	
101			アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i>				○
102			アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	○		○	○
103		ミソハギ科	サルスベリ	<i>Lagerstroemia indica</i>				○
104		アカバナ科	チョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides</i>	○			
105			オオマツヨイグサ	<i>Oenothera erythrosepala</i>	○			
106			コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>			○	○
107		セリ科	シャク	<i>Anthriscus sylvestris</i>		○		
108			セリ	<i>Oenanthe javanica</i>		○		
109			オヤブジラミ	<i>Torilis scabra</i>		○		
110	被子植物	アカネ科	キクムグラ	<i>Galium kikumugura</i>		○		
111	双子葉植物		ヤエムグラ	<i>Galium spurium var. echinospermon</i>		○		
112	合弁花類		ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i>	○	○	○	○
113		ヒルガオ科	ヒルガオ	<i>Calystegia japonica</i>	○	○		
114			マルバルコウ	<i>Ipomoea coccinea</i>			○	○
115			アサガオ	<i>Ipomoea nil</i>			○	
116		ムラサキ科	ハナイバナ	<i>Bothriospermum tenellum</i>	○	○	○	○
117			キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i>		○		
118		クマツヅラ科	クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>		○		○
119			ヤナギハナガサ	<i>Verbena bonariensis</i>			○	
120		シソ科	トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i>		○		
121			カキドオシ	<i>Glechoma hederacea var. grandis</i>	○	○	○	○
122			オドリコソウ	<i>Lamium barbatum</i>		○		
123			ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>		○		○
124			シロネ	<i>Lycopus lucidus</i>	○	○		
125			オランダハッカ	<i>Mentha spicata var. crispa</i>			○	○
126			イヌコウジュ	<i>Mosla punctulata</i>	○		○	○
127			シソ	<i>Perilla frutescens var. acuta</i>				○
128			レモンエゴマ	<i>Perilla frutescens var. citriodora</i>			○	○
129			アोजソ	<i>Perilla frutescens var. viridis</i>		○		○
130			イヌゴマ	<i>Stachys riederi var. intermedia</i>		○		
131		ナス科	クコ	<i>Lycium chinense</i>		○		
132			トマト	<i>Lycopersicon esculentum</i>			○	
133		ゴマノハグサ科	ウリクサ	<i>Lindernia crustacea</i>	○		○	○
134			トキワハゼ	<i>Maquis pumilus</i>	○	○	○	
135			タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>		○		
136			ムシクサ	<i>Veronica peregrina</i>		○		
137			オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>		○	○	
138		オオバコ科	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i>	○			○
139		オミナエシ科	ノヂシャ	<i>Valerianella oltoria</i>		○		
140		キク科	オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i>	○	○	○	○
141			ヨモギ	<i>Artemisia indica</i>	○	○	○	○
142			オトコヨモギ	<i>Artemisia japonica</i>	○			○
143	被子植物	キク科	ノコンギク	<i>Aster ageratoides ssp. ovatus</i>		○	○	○
144	双子葉植物		アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>	○	○	○	○
145	合弁花類		トキンソウ	<i>Centipeda minima</i>	○			
146			アレチノギク	<i>Conyza bonariensis</i>	○			
147			オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i>			○	○
148			コスモス	<i>Cosmos bipinnatus</i>	○	○	○	○
149			アメリカカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i>	○			○
150			ダンドボロギク	<i>Erechtites hieracifolia</i>				○
151			ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>	○		○	○
152			ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>		○		
153			ハキダメギク	<i>Galinsoga ciliata</i>			○	○
154			ハハコグサ	<i>Gnaphalium affine</i>		○		
155			ブタナ	<i>Hypochoeris radicata</i>			○	
156			ヨメナ	<i>Kalimeris yomena</i>			○	
157			アキノノゲシ	<i>Lactuca indica var. indica</i>	○	○	○	○
158			ホソバアキノノゲシ	<i>Lactuca indica f. indivisa</i>	○			
159			ヤブタビラコ	<i>Lapsana humilis</i>		○		
160			フキ	<i>Petasites japonicus</i>	○	○	○	
161			コウヅリナ	<i>Picris hieracioides var. glabrescens</i>		○		
162			コメナモミ	<i>Siegesbeckia orientalis ssp. glabrescens</i>			○	
163			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>	○	○	○	○
164			オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>	○			
165			アイノゲシ	<i>Sonchus oleraceo-asper</i>		○		
166			ハルノノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i>		○		
167			ヒメジヨオン	<i>Stenactis annuus</i>	○		○	○
168			シロバナタンポポ	<i>Taraxacum albidum</i>		○		
169			セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>	○	○	○	
170			オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>	○			
171			オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i>		○		
172	被子植物	トチカガミ科	オオカナダモ	<i>Egeria densa</i>				○
173	単子葉植物	ユリ科	ノビル	<i>Allium grayi</i>		○		
174			アサツキ	<i>Allium schoenoprasum var. foliosum</i>			○	

No.	分類群	科名	種名	学名	2006年 9月10日	2007年 5月13日	2008年 10月5日	2009年 9月27日
175	被子植物	ユリ科	ニラ	<i>Allium tuberosum</i>	○		○	
176	単子葉植物		ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva var. kwanso</i>	○	○	○	○
177		ヒガンバナ科	ヒガンバナ	<i>Lycoris radiata</i>			○	○
178		アヤメ科	キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i>		○		
179		ツユクサ科	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>	○		○	○
180		イネ科	スズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i>		○		
181			メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>			○	○
182			コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>			○	○
183			コバンソウ	<i>Briza maxima</i>		○		
184			ヒメコバンソウ	<i>Briza minor</i>		○		
185			カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i>		○		
186			メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>	○		○	○
187			コメヒシバ	<i>Digitaria radicata</i>			○	
188			アキメヒシバ	<i>Digitaria violascens</i>			○	
189			イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>	○		○	
190			ケイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli var. caudata</i>	○			
191			オヒシバ	<i>Eleusine indica</i>	○		○	○
192			カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i>			○	
193			シラゲガヤ	<i>Holcus lanatus</i>		○		
194			アシボソ	<i>Microstegium vimineum var. polystachyum</i>			○	○
195			オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>	○	○	○	○
196			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>	○	○	○	○
197			ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i>			○	○
198			チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides f. purpurascens</i>			○	○
199			クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i>		○		
200			ヨシ	<i>Phragmites australis</i>	○	○	○	
201			ツルヨシ	<i>Phragmites japonica</i>	○	○	○	○
202			スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>		○		
203			オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i>		○		
204			イヌアワ	<i>Setaria chondrache</i>			○	○
205			アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>			○	○
206			キンエノコロ	<i>Setaria pumilla</i>			○	
207			カニツリグサ	<i>Trisetum bifidum</i>		○		
208			マコモ	<i>Zizania latifolia</i>	○	○	○	○
209			シバ	<i>Zoysia japonica</i>				○
210		ガマ科	ヒメガマ	<i>Typha angustifolia</i>			○	○
211		カヤツリグサ科	アオスゲ	<i>Carex breviculmis</i>		○		
212			ニシノホンモンジスゲ	<i>Carex stenostachys</i>		○		
213			コゴメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i>	○		○	
214			カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>				○
確認種数					87種	121種	107種	100種

種名及び配列は環境省自然保護局編.1987.植物目録に従った